

# 豊川市議会傍聴記

①

地方政治  
クリエイト

伊藤 秀昭

◆子供の予防接種  
浦野隼次氏(とよかわ未来)は、季節性インフルエンザの流行の時期を迎え予防接種とそれへの補助について質問した。

また、任意接種であるB型肝炎ワクチンについては国の動向もあり、定期接種として実施するとし、ロタウイルスとおたふくかぜは、実

富田潤氏(とよかわ未来)はその団員確保策を聞いた。

富田氏は、巨大地震に備え地域防災力を向上していかなければならない現状から重要な組織である消防団員を支える家族の理解が大切であると強調した。消防

くことに危機感を感ないだろうか。

また、豊川駐屯地の隊員を含む第10師団の南スーダンへのP KO派遣については、当局が自衛隊豊川駐屯地に確認して「半年間、首都シユバ周辺の道路整備を行う」と答弁しているのに、危険な戦地へ

うに開催してきた活動を踏まえ、教育現場での人権教育の取り組み、アニメDVD「めぐみ」の活用などについて積極的な取り組みを要請した。

教育長は来年度中学校社会科教科書に「拉致問題」が

◆PKO派遣  
安間寛子氏(共同産)は安保法制の影響について取り上げた。

議論の中で「私たちが安保法制を戦争法案と呼ぶのは、自衛隊の皆さんを

また、豊川駐屯地の隊員を含む第10師団の南スーダンへのP KO派遣については、当局が自衛隊豊川駐屯地に確認して「半年間、首都シユバ周辺の道路整備を行う」と答弁しているのに、危険な戦地へ

うに開催してきた活動を踏まえ、教育現場での人権教育の取り組み、アニメDVD「めぐみ」の活用などについて積極的な取り組みを要請した。

教育長は来年度中学校社会科教科書に「拉致問題」が

者単独での入札不調はなかったことを示し、各ランクの受注可能金額を引き上げることと、金額ライオンが20数年間変わっていないとして「市による過度の受注調整になっていないか」と検討を迫った。きちんとしたデータからの問題提起は説得力があった。

## 平和国家への議論活発に



本年度のインフルエンザワクチンは「4価ワクチン」となり、接種費用は3000円から5000円となつているが、豊川市では予防接種法に基づき任意接種であることから助成していない。県内でも助成しているところもあり、さらなる取り組みを期待したい。

富田潤氏(とよかわ未来)はその団員確保策を聞いた。

富田氏は、巨大地震に備え地域防災力を向上していかなければならない現状から重要な組織である消防団員を支える家族の理解が大切であると強調した。消防

くことに危機感を感ないだろうか。

また、豊川駐屯地の隊員を含む第10師団の南スーダンへのP KO派遣については、当局が自衛隊豊川駐屯地に確認して「半年間、首都シユバ周辺の道路整備を行う」と答弁しているのに、危険な戦地へ

うに開催してきた活動を踏まえ、教育現場での人権教育の取り組み、アニメDVD「めぐみ」の活用などについて積極的な取り組みを要請した。

教育長は来年度中学校社会科教科書に「拉致問題」が

◆消防団員の確保  
全国の消防団員数は1990年には100万人を割り、年々減少を続け、豊川市の消防団員も今年4月1日現在704人(前年比10人減)で、減少傾向にある。

長は、消防団協力事業所の拡充や国が長野県、静岡県で行っている税制優遇措置を検討する動きもあり、注視していくとした。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神が希薄になつてい

の派遣のような議論の展開は飛躍過ぎていないか。

取り上げられることなどから、より一層の活用の意向を示した。

八木氏は「拉致は過去のことでなく今のことです。他人のことでなく豊川市民とかかわっている身近なことです」と、

拉致問題への思いを

◆拉致問題  
八木月子氏(一人会派)は2007年に自ら「ブルーリボン豊川」を立ち上げた、「横田めぐみ写真展」や拉致家族の講演会を毎年のよ

議員が発言する以上、決まったのは法律であるから「安保法制の、どの法律のどこに、このように書かれているから」と発言すべきでは

八木氏は「拉致は過去のことでなく今のことです。他人のことでなく豊川市民とかかわっている身近なことです」と、

拉致問題への思いを

で、Bランクが2000万円まで、Aランクがそれ以上となっている。昨年度の受注実績では、業者数が19・4%のCランク業者が7・52%の受注割合。倉橋氏は、そのCランク業者の落札率が最も低く、またCランク業

者単独での入札不調はなかったことを示し、各ランクの受注可能金額を引き上げることと、金額ライオンが20数年間変わっていないとして「市による過度の受注調整になっていないか」と検討を迫った。きちんとしたデータからの問題提起は説得力があった。

毎回、指摘するところだが、早口での膨大な量の答弁は傍聴席からも、恐らくインターネットで傍聴している市民からも聞き取ることは難しい。何のための、誰のための議会かを考え、質問者も答弁者も工夫すべきでないだろうか。

富田潤氏(とよかわ未来)はその団員確保策を聞いた。

富田氏は、巨大地震に備え地域防災力を向上していかなければならない現状から重要な組織である消防団員を支える家族の理解が大切であると強調した。消防

くことに危機感を感ないだろうか。

また、豊川駐屯地の隊員を含む第10師団の南スーダンへのP KO派遣については、当局が自衛隊豊川駐屯地に確認して「半年間、首都シユバ周辺の道路整備を行う」と答弁しているのに、危険な戦地へ

うに開催してきた活動を踏まえ、教育現場での人権教育の取り組み、アニメDVD「めぐみ」の活用などについて積極的な取り組みを要請した。

教育長は来年度中学校社会科教科書に「拉致問題」が

者単独での入札不調はなかったことを示し、各ランクの受注可能金額を引き上げることと、金額ライオンが20数年間変わっていないとして「市による過度の受注調整になっていないか」と検討を迫った。きちんとしたデータからの問題提起は説得力があった。